

◆質疑等への回答一覧

1、報告事項①について

問1. 「レッツ倶楽部境港」について、利用定員10人に対し登録者の合計42人となるのはなぜか。

(答) 1回に利用する定員が10人で、利用する曜日や時間帯が異なっているためです。

問2. 訪問介護事業所で身体的介護ができる事業所の実態は。

(答) 県の指定を受けている事業所は市内6か所ありますが、利用希望者全員を市内の事業所で受け入れるのは難しい状況であるため、米子市、松江市内の事業所も利用していただいています。

2、報告事項②について

問1. 2ページの表2「ケアマネージャー1人当たりの担当件数の比較」について、令和元年度は40.5件とあるが大変ではないか。

(答) 包括支援センターの活動実績の一つとして、毎月、件数を出しています。内容は、相談形態の訪問、来所、電話の延べ件数で表しています。ここには明記しておりませんが、これらの前年度からの伸び率を出すと、約120～130%であり、出向人数を増やしていただくなど対策を講じている所です。

問2. 16ページの7月12日実施「ことぶき研修会」の中の「PP」とは。

(答) パワーポイントのことです。

問3. 新型コロナウイルス感染症流行による各種事業の活動制限で、認知症の方等に影響が出ているか。

(答) 数値的な把握はできておりませんが、地域住民の方々からは、外出自粛で、身体だけでなく気持ちも弱ってくるとの声が多数ありました。

問4. 今回の新型コロナ騒動では多くの事業や行事が中止になった。今後予想される二次、三次流行時における事業展開はどのように考えているか。

例えばフレイル予防事業では、5月からフレイル通信が発行され、内容も然ることながら配布を通しての声掛けも有効であると思った。

(答) 6月から感染予防の対策を講じながら、地域での事業を順次再開しています。しかし、感染の状況を見ながら、再度中止することも考えています。その時は、今回実施したように、フレイル通信の発行など自宅で取り組めるフレイル予防対策を再度検討し、実施する予定です。

地域の皆様にもご協力を賜ることもあるかと思いますが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

問5. 活動実績表を見ると、仕事量が多大であり、職員の健康を危惧する。職員の増加の予定は。

(答) 増加する相談業務に対応するため、会計年度任用職員を今年1月から1名増加しています。また、地域包括支援センター相談員として、会計年度任用職員を6月より1名増員しました。

問6. フレイル予防による介護者割合の変化は。

(答) 現在、まだ明らかになっておりません。

3、その他

問1. 介護支援ボランティア制度の現在の実施状況は。

(答) 令和2年6月1日現在で、指定受け入れ施設8施設、介護支援ボランティア登録者数10人です。